

成人 T 細胞性白血病に対する腫瘍抗原特異的 T 細胞受容体遺伝子導入細胞療法の開発

研究対象：

成人 T 細胞白血病と診断された患者

研究概要：

成人 T 細胞白血病は、ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (human T-cell leukemia virus type-1: HTLV-1) の感染によって引き起こされる極めて予後不良の血液疾患です。私たちは HTLV-1 ウイルスに感染した細胞に対して特に強い攻撃力を持つリンパ球を人工的に作成しました。その効果を成人 T 細胞白血病の患者さんの血液を用いて証明し、臨床応用に結びつけたいと考えています。

目的：

これまでの研究の結果から HTLV-1 ウイルスに感染した細胞に対して特に強い攻撃力を持つリンパ球を同定し、それを人工的に作成することに成功しました。本研究では、成人 T 細胞性白血病の患者さんの腫瘍細胞を動物（マウス）に移植して、この作成したリンパ球を投与し、抗腫瘍効果があるかを証明することを目的としています。成功すれば、予後不良の成人 T 細胞性白血病に対して有効な新規の免疫細胞療法に発展していく可能性があります。

方法：

対象症例について、本研究への参加に同意の頂けた方から、外来または入院時の採血予定日に合わせて別途末梢血 20ml を採取させていただきます。採取した検体は処理した後、マウスに投与し、その後人工的に作成したリンパ球を投与することで、成人 T 細胞性白血病に対する免疫細胞療法モデルの動物実験を行います。

個人情報保護に関する配慮：

一部診療情報も収集させていただきますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。個人情報が出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

当センター研究責任者の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 血液腫瘍科 医長 瀬尾 幸子

FAX 04-7131-4724/TEL 04-7133-1111